



## 橋梁部材の耐震性能を評価します

耐震工学・ハイブリッド地震応答評価システム

技術分野分類 5702：構造工学・地震工学・維持管理工学

技術キーワード B：構造工学、C：鋼構造、G：地震工学、H：耐震構造

産業分類 D-06：総合工事業

内 容	概 要	橋梁に添加する制振デバイスの性能を実験的に評価する研究 ・ハイブリッド地震応答実験システムの開発 ・ブレース接合部の合理化設計に関する研究
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	巨大地震動を受ける橋梁や鉄骨フレームの応答をパソコン上でシミュレーションしながら、最大 1000kN までの軸力と偏心曲げ荷重を考慮して、ダンパーの制振性能を実験的に再現・評価可能です。振動台では不可能な実大スケールサイズの供試体が利用できます。
	本技術の 有用性	実物サイズの制振ダンパーの地震時応答を再現し、性能評価できる。
関連情報 (図・表・写真等)		 <p>制振性能を評価するダンパーの例 (左) オペレーションシステム (右)</p>
適用可能製品		部材長さ 3m (塑性変形区間長さ+取り付けブラケット部材長さの合計長さ) 程度までの軸降伏型ダンパー
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	渡辺 孝一 (わたなべ こういち) 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036/052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産 無

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2014 年 10 月 7 日